

2013 年度第 1 回オープン グループ セッション 「ITC 国際標準の動向とその意義」 開催のご案内

システム監査学会では、学会員および JIPDEC フォーラム会員の皆様を対象としたセッションを年に数回開催しております。
今回はオープン・グループ・ジャパン様および一般社団法人ディベンダビリティ技術推進協会様にご協力いただき、「国際標準の動向と O-DA 標準とその意義」をテーマとする「オープン グループ セッション」を開催いたします。
つきましては、第 1 回セッションを下記のとおり開催いたしますので、参加ご希望の方はシステム監査学会事務局宛、Web からお申し込みください。なお、申込み後にキャンセルされる場合は学会事務局までご連絡をお願いいたします。

記

<第 1 回セッション 開催要領>

1. 日時： 2014 年 2 月 13 日（木） 14:00～16:00（開場 13:30）
2. 会場： 六本木ファーストビル 1 階 JIPDEC 第 1 - 3 会議室（東京都港区六本木 1-9-9）
会場までのアクセス <http://www.jipdec.or.jp/ov/accessmap.html>
3. テーマ：「世界のオープン IT 戦略と Web3.0 に向かうオープン標準の動向—その有効性；経済性；国際競争力の観点から—」
4. 講師：オープン・グループ 日本代表・会長 藤枝 純教 氏（グローバル情報社会研究所株式会社 代表取締役社長）
5. 講演要旨： オープン・グループは、世界の 430 数社のユーザおよびグローバルなベンダーによる会員組織による標準団体です。

1970 年以降、第 1 次世代オープン標準、UNIX や分散コンピューティング、インターネットコンピューティングの標準化、1980 年代には PC をインターネット上のプラットフォームとする Read Only 型の Web 1.0 から、1990 年代の内、2 人称時代の第 2 次世代オープン標準で LAMPS 標準が機能する双方向更新可能の Web 2.0 の基盤ができました。DB のオープン化が実った 95 年頃から、アーキテクチャのオープン化（TOGAF）が始まり、第 3 人称者がユーザとして登場し、オープンな広がる市場やサービスに対するアーキテクチャの価値化と認証化を可能にする第 3 次オープン標準時代が広がってきました。

E-コマースも徹底して広がり、2005 年以降、SNS の急速な展開を受け、ユーザが持ち込んだ顧客購買データの DB 化や、E-Commerce の DB 間を、複数の検索要件や顧客特性、プロフィールに合わせて、裏側で検索管理をする機能をもつ Web3.0 が現れました。セキュリティ・プライバシー・コンプライアンスを遵守する Web 環境のなかで、組み込まれたケーバビリティとして、プラットフォームが主体者となり、自動的に、データベースのコンテンツ間の関係式検索結果を生成し、要求者に対して利便が与えられるという状況が起きてきています。それに、クラウド化や社会システムの新規開発とスケール化に引きつられ、システムの信頼性、特に、安全と安心の担保がますます重要になってきました。そこに、2 回目に所博士にお話をいただく O-DA（DEOS）標準を、オープン・グループで標準化に踏み切った意義があります。その意味で、システム監査の立場からも、業務オーディットの立場からも、その利便性とコンプライアンス遵守義務との関係で、注目すべき第 3 次標準の世界として捉えることができると考えられます。

今セッションでは、その設計レベルでの EA との関係と設計理念について、オープン・グループ 日本代表 藤枝純教様にご講演いただきます。

5. 定員：システム監査学会、JIPDEC 各 35 名（計 70 名）
6. 参加対象：本セッションへの参加は、学会員（正／賛助会員／学生会員）および JIPDEC フォーラム会員に限定させていただきますので、申し訳ありませんが、会員外の方の参加はご遠慮ください。
7. 参加費：無料
8. 申込先：以下の URL からお申し込みください。（JIPDEC フォーラム会員の方もシステム監査学会のサイトからのお申し込みとなります）
http://www.sysaudit.gr.jp/kenkyukai/session_1.html
※申込の際に自動返信された「参加証」を当日、印刷してお持ちください。
9. 事務局連絡先：システム監査学会 106-0032 東京都港区六本木 1-9-9 JIPDEC 内
Mail: event@sysaudit.gr.jp / TEL : 03-5860-7556

<第2回セッション開催要領>

1. 日時：2014年3月5日（水）14:00-16:00
2. 会場：六本木ファーストビル 1階 JIPDEC 第1-3会議室（東京都港区六本木1-9-9）
3. テーマ：「O-DA（オープン・グループ デイベンダビリティ構築・検証標準）と DEOS 活動とシステム監査」
4. 講演者：一般社団法人デイベンダビリティ技術推進協会 理事長（JST プロジェクト：DEOS 研究総括） 所 眞理雄 博士
5. 講演要旨：国内ですでに DEOS 開発に参加され、また、今後、デイベンダビリティ技術推進協会に参画される企業および、国際的に活躍される高信頼性機器である航空・列車・電力など製造販売の重工業・自動車・薬品・エネルギー関連企業の方々が、世界の標準創りと世界でのユースケース評価などの活動に、オープン・グループ リヤルタイムエンベデッドシステム（RTES）フォーラム部会の企業メンバーとして参画していただき、一緒に、O-DA（DEOS）の D-Case の実践プログラムに参画していただき、その Learned points をフィードバックしていただき、2015年までに、O-DA 標準を現在の Version 1.0 から Version 3.0 までアップする活動を、オープン・グループ RTES フォーラムメンバーである米国国防省、関係コンサル会社、ボーイング、レーシオン、エアバス、ロッキードマーチンらと共同でヴァージョンアップ活動に参加していただくこととなります。
今、この、O-DA 標準推進の国際活動は、アベノミクスで世界に売り出す、インフラ型産業プロジェクトへの人脈創りやマーケット工作部隊的な役割も出てくることと期待しています。
また、次世代の世界に通用するエンタープライズ アーキテクトの養成、オープン・グループの RTES フォーラムで O-DA 標準活動、または、FACE Project、OTTPS プロジェクトに参加し標準活動に携わることは、外国のトップ大学院博士課程に留学するレベル以上に、人脈創り、理論の深堀、ビジネス上の意義などの理解がえられるのが、われわれの期待するところです。
第2回セッションでは、オープン・グループのオープン標準に対して初めて日本科学技術プロジェクト(DEOS)の総括官をされ、現、一般社団法人デイベンダビリティ技術推進協会 理事長の所 眞理雄 博士(SONY-SCL 研究所共同創業者)、を招き、オープン・グループで作り上げた「O-DA 標準」について、その考え方使い方について詳しくご紹介いただきます。

※第2回セッションの参加申込受付は、第1回セッション終了後に開始する予定です。(以上)